



左から石居さん、阿部さん、川島市長、上田さん、八若さん
(長浜市役所市長応接室で)

《対談者プロフィール》

阿部 圭宏さん(富田町出身、大津市在住)
元滋賀県職員。県の職員として市民活動に関わるなかで、その必要性を感じ、市民活動を支援するNPOを立ち上げ活動中。

上田小百合さん(勝町)
小学校や図書館で絵本の読み聞かせボランティアとして活動、昨年の北近江一豊・千代博覧会では、紙芝居の読み手としても活躍。

石居よし江さん(高畑町)
高齢者対象のサロンを立ち上げられたほか、子どもの見守り隊や地域の課題を解決することを地域みんなで考える勉強会「花咲か塾」にも参加。

八若 和美さん(下八木町)
農村集落として育まれてきたコミュニティを見直そうと地元のまちづくりに参加。景観づくりをはじめとしたまちの活性化に携わる。

きっかけは地域の課題に気づくこと
市長 石居さんは、高齢者サロンや子ども見守り隊をされているそうですね。
石居さん はい、月に1回、地域のお年寄りや体を操を楽しんでもらい、見守り隊では、通学時間に立ち番をして、子どもたちとの会話を楽しんでいます。若



阿部圭宏さん

市 長 いろんな魅力があったのですか
阿部さん そうですね。私はNPOを支援するなかで、多くの人と関わってききましたが、それぞれが目的を持ち、率先して活動されている姿を見て、まちを元気づけているのはこういう人たちのかなと思います。そんな人を応援する仕事がしたいと思いました。

つたのではないかと期待しています。その可能性を開くキーワードは「人」だと思っています。みんなが元気に暮らせるまちをめざすことは大事ですが、そんなまちにしていけるのも人です。また、いろんな意味で人と人との関わり大切さを見直さないといいけない時期にあると思っています。

そんな中、介護、子育て、教育、安全、環境、文化といった、地域の課題を解決し、新たな魅力を生むものとして、市民活動が見直されています。今回は、実際に活動されているみなさんとお話することで、その大切さを考えていきたいと思います。

市 長 あけましておめでとうございます。さて、合併して間もなく1年になるわけですが、私は、それぞれ異なった個性があるまちが一緒になったことで、新たなものが生まれるチャンスが広が

少子高齢化や核家族化、コミュニティの希薄化といった、以前とは違った社会背景のなかで、地域に生じてきた課題を解決し、新たな可能性を生むものとして市民活動が見直されています。今回は、実際にさまざまな分野で活動するみなさんと、市民活動の大切さについて対談させていただきました。

理想のまちを自ら創る

市長新春対談 市民の力こそ まちの財産



川島信也市長

まちを元気づけるのは人

Contents

■市長新春対談 市民の力こそ まちの財産 ～理想のまちをみずから創る～	2～6P
■地域づくり ～長浜市の新しい住民自治～	7P
■市議会から 12月議会の主な内容	8～9P
■広告募集、国民年金	10P
■確定申告	11P
■ほつとにゆ～す	12P
■まちの外国人さん、ぶらりわがまち	13P
■福祉お知らせ	14P
■健康・生活お知らせ	15P
■防災・住宅お知らせ	16P
■工事お知らせ	17P
■人権ってなあに	18P
■お元気ですか	19P
■家族でふれあう時間を いじめの早期発見にご協力を	20P
■イベントなどお知らせ	21P
■インフォメーション	22～23P
■梅の香ただよう盆梅展 Smile	24P

今月の表紙

長浜市富田町で、150年以上受け継がれてきた富田人形の人形浄瑠璃。
近年は、小中学校の総合学習で体験した地元の若い人たちが、アメリカの学生なども参加されるようになってきました。
今回は、人形の使い手として参加されている藤森美緒さん(十九町)に、正月などのめでたい席で上演される式三番叟を紹介していただきました。